



桜にまつわる患者様との思い出



皆様こんにちは。
暖くなったり、寒くなったり、天気はさっぱり落ち着きませんが
草木は次々と花を咲かせ、強い生命力を感じる濃い緑が
気持ちを明るくさせてくれます。

5月には入居者さんに手伝っていただいて、スタッフが
畑を起こし、苗を植え、プランターに花を飾ってくれました。
今年が目玉は頂いたタマネギの苗。今から収穫が楽しみです。

さすがに釧路も桜は終わりましたが、今年の咲き誇る桜を見ながら
お付き合い頂いた患者様やご家族様との事を思い出していました。

一昨年春、桜前線はまだ札幌にも来ていない4月の初め
ヒサルさんのお部屋では桜が咲いていました。
奥さんが裏庭の桜の枝を切って、自宅で活けて早咲きさせていたのです。
桜の花の横には日本酒「越乃寒梅」の一升瓶を置き、ふるさと新潟の
桜祭りの話を懐かしそうに、楽しそうに聞かせてくれました。

今年のゴールデンウィーク。ふわりの玄関とホールには桜が咲きました。
ヒサルさんの話しをしたところ、ある方が自分の所有している山から
抱えきれない程の桜の枝を分けて下さいました。
固い蕾が少しづつ開き、朝も夜も、何日間も楽しませてくれました。
最後の花が散っても「この葉っぱを見ているだけでも良いね～」と京都出身のSさんはそう言って毎日何度も
花の散った枝を眺めておられました。

6年前の5月マサミチさんのお宅では満開の桜を窓辺にみながら、ご家族が最期の時間を
一緒に過ごしていました。お看取りの後、娘さんは「桜の季節に父が逝ったので、私たちはこれから毎年
桜の下に集まることができます。父からの最期の、最高の贈り物です。」と語ってくれました。

ふわりには桜の木が一本あります。中島町から入江町に移って来たときにすでにそこにありました。
細い木でしたが5月になると優しい花をつけ、今はいない僕の愛犬ルーとモモも参加して皆で春を祝いました。
ふわりが建って、その桜は建物の陰になって、人目に触れることが減りました。
桜は花をつける事もなくなり、眺める人もいなくなりました。植え替えようか・・・このままじゃ枯れてしまうかも・・・
そんな思いもあった去年の秋、最期かもしれないと思いながら肥料を入れました。
今年は、ホールの花が咲き終わると、入れ替わるようにたくさんのお花を咲かせてくれました。

昨日、花が終わった桜の枝を、少し整理させて貰って、花のお礼に肥料を撒きました。
秋も忘れずに、今年のお礼を言って肥料を撒き、来年の花をお願いしましょう。

ふわりはまだひよっこです。住まうひと 訪れるひと 一緒に働いてくれるひと
ふわりは皆様に育てて頂いています。ゆっくりですが、時を重ねるとともに成長していきます。
成長が遅すぎて心配頂くことも多いですが、僕もスタッフも皆様のおかげで成長できていると感謝しています。
ふわりの桜のように立派に花を咲かせるまで、これからも見守って下さい。宜しく願いいたします。



佐藤様のお宅のごんちゃん。
とても人懐こく、頭が良いんです。
おすわり、お手、おかわりを
するんですよ～とても愛らしく
皆を癒してくれています。



スタッフ紹介

ふわり訪問看護ステーションに新たなメンバーが来てくれました。昭和60年から市内総合病院で急性期医療に関わってこられた素晴らしいキャリアの持ち主です。柔らかな物腰と安定した心で皆の事を包んでくれています。お若いですが、お孫さんがいるんですよ～これからもどうぞ宜しくお願いします！！



〈久保美香代看護師から〉

この度、勤めていた病院を退職し4月から「ふわり」でお世話になっています。訪問看護の経験はありませんが、今までの知識やスキルを活かし1日も早く戦力になれたらと必死で日々を過ごしております。働いてみようという気持ちだけで飛び込んだ訪問看護の仕事ですが、今は「興味あること」になってきており、これからは楽しみながら皆さんと携わっていきたくて考えております。



ご長寿さま紹介



当診療所の患者様で最年長の平山萩之(ひらやまはぎの)様です。ふたば診療所、開設前から診療に関わらせて頂いています。平山様は普段から「この世が一番良い。生きていれば楽しい。」と話されます。普段我々が見落としがちな大切な事を教えて下さいます。芸能会やニュースにも感心が高く、若い世代の人達との会話も楽しんでおり、「子供がなかなか授からない・・・。」と悩んでいる人に秘伝を伝授しその人が見事に子宝に恵まれたという伝説の持ち主です。もはや、常人の及ばない神の領域に存在されているようです(^^)



83歳の時に自伝書「はぎの暦」を出版。

自作のイラストを挿絵に使い
自らの半生を綴られています。

内容もとても楽しいものです。

← 左にあるのが著書「はぎの暦」です。



萩之さん。これからも若い世代に
たくさん事を教えて下さいね～(^^)

100歳と8ヶ月の平山様です。

第8回北海道在宅医療推進フォーラムin釧路 「無理と言われてあきらめていませんか？」

～できることがある、私たちがいる～



実行委員会の様子です。

谷藤公紀実行委員長のもと市内の医療・介護の事業所様から精鋭メンバーにお集まり頂き、着々と準備を進めております。あきらめずに地域で暮らし続ける実践例や琉球大学から講師を招いての講演会など、盛りだくさんの内容です。乞うご期待！

日時:平成29年9月9日(土)13:00～

場所:まなぼと幣舞 多目的ホール

＜編集後記＞

あっという間に年が明けて半年が過ぎましたね。この季節、診療で皆様のお宅へ何うとお庭に様々なお花が咲いていて目を楽しませて頂いています。谷藤先生は忙しいながらも最近、園芸に目覚めたらしくお花を植えたりしているようですよ～。植物の持つエネルギーが先生を癒してくれているのでしょうかね。山菜も食べましたか？ふわりでも職員からの差し入れでふきのとう・ごみ・ウド・クレソンなど、たくさん頂きました。これからはフキですかね～楽しみです！この季節だから頂ける大地の恵み。大いに恩恵に授かりましょうね！！